

トウモロコシサイレージの生産・利用体制の 整備による品質の向上

対象者 トウモロコシサイレージ生産農家、酪農家、コントラクター

【普及活動のねらい】

当管内では、平成 26 年度からトウモロコシサイレージの生産供給が開始されています。生産当初は小規模な面積で取り組まれていましたが、畜産農家の需要の増加に伴い、作付拡大を図ったことにより令和 3 年度には約 27ha となり、今後も作付面積の増加が見込まれています。しかし、近年の急激な作付拡大は、生産者の作業スケジュールが優先され、畜産農家の品質への要望やコントラクターの適期作業からズレが生じ、結果として品質低下が問題となっていました。特に、生産者の播種時期が極端に遅く、トウモロコシの熟度が進まないままコントラクターが収穫せざるを得ない状況を改善することが急務でした。

そこで、当普及指導センターでは、播種時期の調整、品種の選定、耕畜連携内の連絡体制の整備等、酪農家の要望に応じた品質の確保に向けて、耕畜連携組織全体の生産・利用体制の再整備を図ることを目的に支援を行いました。

【普及活動の内容】

適期播種に向けた栽培計画の樹立と計画の実践

酪農家の要望に応えるとともに、生産農家とコントラクターの作業スケジュールを考慮した播種時期や品種を検討・選定し、栽培計画を作成しました。また、生産農家に対し研修会の開催や現地指導を通して適期播種の重要性を指導するとともに、作成した栽培計画に基づき播種するよう働きかけを行いました。



収穫調製作業

情報共有ツールの作成・活用

作業の進捗状況等の情報を円滑に共有するため、耕畜連携組織 3 者が得たい情報を聞き取り、整理し、情報共有ツールとして LINE グループ「甲賀地域 耕畜連携」を作成しました。作成後はツールの利用促進を図るとともに、コントラクターと発信時期・内容を協議しながら、随時、適期に発信するよう指導しました。

【普及活動の成果】

生産農家に播種をできるだけ早くという意識を持っていただいたことから、適期播種が実践され、生育期間の確保とサイレージ品質の改善を図ることができました。また、普及指導センターとコントラクターが連携し、定期的に LINE グループ上で生育状況や収穫順、作業の進捗状況を発信したことで各関係者が現状確認できる体制を整えることができました。今後は、計画に沿った栽培を地域に定着させるとともに、今年度課題となった湿害・雑草対策等の改善策を提案・指導し、引き続き、品質向上と地域の新たな耕畜連携の体制の構築に向けて支援していきます。